

令和8年 めぐみ 秋号

発行元 〒598-0024 大阪府泉佐野市上之郷2007番地の1

発行者

社会福祉法人清光会 障がい福祉サービス事業 恵誠の里
施設長 市道明宏



TEL 072(467)1181

FAX 072(467)2281

HP <http://s-seikokukai.or.jp/keiseinosato>

E-Mail keiseinosato@nifty.com

上半期を振り返って

私がサービス管理責任者に就任して半年が経過し、今年度も早いもので上半期が過ぎました。支援員だった時以上に広い視野と多角的な視点が必要であることを意識し、日々業務に携わっている次第です。

そのような状況の中で、支援員から日々感心させられることがあります。それは、ご利用者の変化に対する細やかな「気づき」です。例えば、ご利用者に対して「なんとなく、普段よりソワソワしているなあ。」「身体の強張りが気になるなあ。」「少し表情が暗いなあ。」等、気づきがあったことによって、飛び出し等の突発的な行動を防げたり転倒を予防できたりと、ご利用者の安全に繋がる場面があります。また、ご利用者の悩みや不安について相談の機会を設け、精神的な安定に繋がられる場面もあります。ご利用者と近い距離で毎日接している支援員だからこその気づきが支援に活かしています。

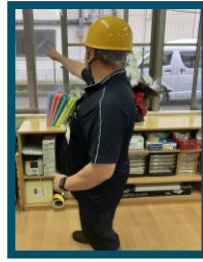
また、恵誠の里へ通所されているご利用者には、言葉で上手く気持ちを伝えられない方もいらっしゃると思います。メラビアンの法則では、コミュニケーションで伝わることを全部で100%とすると、バーバル（言語的）コミュニケーションで伝わる割合は7%、ノンバーバル（非言語的）コミュニケーションで伝わる割合は93%で内訳として声のトーン等が38%、表情や仕草等が55%とされています。ご利用者に「自分を理解してもらっている。」と安心感をもってもらう為にも、ノンバーバルで発しているサインに気づき、汲み取っていくことが一層重要になると考えます。

各支援員の気づきを持てる感性を大切に、支援員同士が気づきを共有することで、ご利用者一人ひとりに安心・安全に過ごしてもらえる組織作りに尽力していきたいと考えています。そして、「今日は、表情が明るいなあ。」「昨日より、活動を頑張っているなあ。」等、ご利用者のポジティブな面にも気づきをもって喜びを共有することで、前向きで活気のある事業所づくりができるよう努めてまいります。

サービス管理責任者 角谷真吾



BCP訓練



BCP は大地震などの自然災害やトラブルの発生直後から、状況がどのように変化するかを想定し、職員が閉所せず早期復旧できる事を目指して行動する訓練の事です。この訓練の計画（事業継続計画）は策定すれば、完了するものではありません。ご利用者や職員の入れ替わり、地域周辺の環境は年を追って変化するため、これからも定期的な見直しと訓練を実施します。

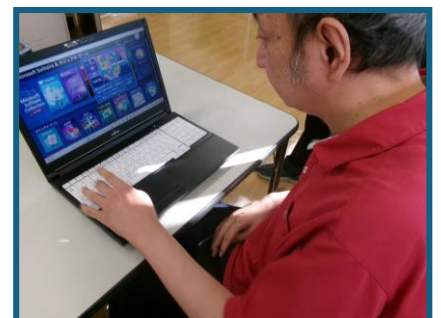
支援課課長 谷口勉

人権研修～得意を活かす生き方～



9月には外部講師を招いての法人全体での人権研修を実施しました。今回の講師は漫画家、イラストレーターで活動されているオサ先生にお越しいただきました。今回は若年性関節リウマチを15歳で発病した当事者ご本人の気持ちや考えについての部分をお話いただきました。痛みと闘う毎日、友達には言えなかった高校時代、仕事ができない20代、心が壊れた30代と苦悩を経て辿り着いた現在では、できないことばかりに目を向けるのではなく、自分ができること、得意なことを活かすといった、ストレングスに着目できるようになったそうです。「できる、できない」ではなく自分が「やるか、やらないか」というだけで、何かを始めるのに遅すぎることはない、いつからでもできるんだと、希望のある内容でした。今回の研修を受け、今年度の人権研修のテーマである「ご利用者に寄り添う支援」に繋げていきたいと思ひます。

はじまるくん事務局
株式会社オーグス総研様より
ノートパソコン2台を寄贈して
いただき、ありがとうございます。
日中活動の一環として
活用させていただきます。



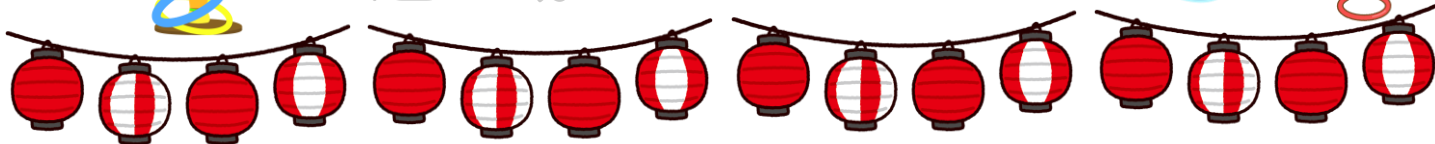
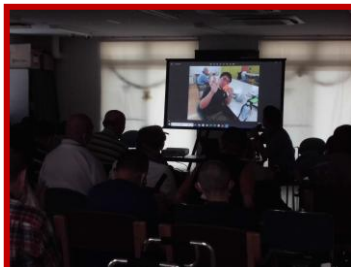
新規採用辞令交付式

令和8年10月1日に法人本部にて辞令交付式が行われました。
和泉の里には支援員1名、看護師1名、事務員1名、
ゆかりの里には調理員1名
ささゆり作業所には支援員2名、
計6名の職員が入職されました。





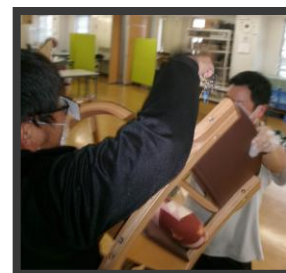
恵誠の里まつり



9/22(火)に恵誠の里まつりを開催しました。急遽、演目の変更があり、スライドショーで恵誠の里での様子を上映しました。ゲームでは輪投げとブカブカ動物すくいを行い、ご利用者からは「楽しかった～！もっとやりたかった。」などの声もあり、沢山の笑顔が見られたイベントとなりました。ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。

支援課 立野加津子

防犯訓練



不審者が侵入するという不測の事態を想定した防犯訓練を実施しました。現場判断が求められる状況を体感してもらう為に、台本設定はあえて最低限の内容を伝えるものでしたが、身のまわりにある物でバリケードを構築する、防火扉を施錠して侵入を防ぐ等、各職員が独自に考えて行動することで、ご利用者が安全に避難する時間を稼ぐことができていました。

支援課 山野剛史

一般社団法人 廣和・博子会（株式会社島本保険事務所）様より老眼鏡3本を寄贈していただき有難うございます。

頂いた老眼鏡は、職員による手作りケースに入れ大切に活用させていただきます



4 班創作活動



フォトフレームを使用し、梅雨をテーマに作成しました。今回は傘で雨宿りするカエルをイメージし、シールを貼りながら傘にデコレーションをしていただきました。作成中に苦戦される場面もありましたが、皆様一生懸命に取り組まれていました。 支援課 宇室克哉

7月より調理員補助として勤務させていただいております。至らない点もございますが、宜しくお願いします。



調理員補助 北浦仁子

利用相談・見学・体験について随時受け付けております。

サービス内容は事業所ホームページに記載しておりますので、どうぞご覧下さい。

ホームページ

<http://s-seikoukai.or.jp/keiseinosato>

E-Mail

keiseinosato@nifty.com

（電話での相談もお受けします。TEL072-467-1181） ご連絡お待ちしております。 受付 谷口



ご協力ありがとうございました!!

今若圭子、岡村恵美子、蒔田邦子、
エス・ティ・サービス
(順不同) (敬称略)



作業提供ありがとうございました!!

松井縫製加工所、(有)丸甚製作所様、
(有)ハナトミ
(順不同) (敬称略)

